

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係重要事項
半月報(1)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43507

才
6
回
(
服
40
12
1
3
15
)

タイプ指示	発信用	執務用	計
主信	✓	✓	2
付	4の子		
属			

発送日 昭和40年12月21日
 発信タイプ

文書課長 (印) 公 信 案 (分類)

公 信 第 152 / 号 公 信 昭和 40年12月21日

大 政務次官 事務次官 外務審議官 主任

主管 北米局長 参事官 北米課長

主任

起案 昭和 40年 12月 17日

起案者 後藤 電話番号 444

受信者 在米 武内大使

発信者 椎名大臣

写送付先 (希望発送日) 月 日

件 名 沖縄関係重要事項 半月報 送付 (第6回)

米北第152号
 昭和40年12月21日

在米大使殿

外務大臣

沖縄関係重要事項半月報の送付
 本件半月報 第6回分(12月1~15日)を下記のとおり、別添送付する。

記

1. 主席公流推進懇談会役員 木岡主席と会見
2. 第29回立法院特別議会
3. 民主党幹部 フォン亭等幹務員と会見

GA-4 外務省

4. 久米島事件

5. 違憲訴訟

6. ランカウ大使訪沖

7. 小島陸軍次官神訪沖

付属物空便

松岡 沖繩関係重要事項月報

(昭和40年12月1~15日)

1. 主席公選推進懇談会役員 松岡主席と合見

屋良敬昭委員長 宮城市町林議長合見

喜屋武懇談会議長と 主席公選推進懇談会役員は

12月1日 松岡主席と合見し「主席公選要求決議

及び代表派米に因り陳情文」を分文書として

主席と立法院議長に早急に送米して米政府に

「主席公選」の實現を訴えよう要請したと伝

へられた。一行は長嶺立法院議長も同様の

要請を行なうに趣いた。

2. 立法院特別代議会

12月1日 立法院第29回特別代議会を開

議長は長嶺秋夫氏(民進) 副議長は山川春邦

氏(代議)と佐々木元子氏(民進) 常任委員は

各常任委員会の上副委員長を次列の如く決定

行政委員長 中村昭北 (代議委員)

副委員長 大城廣順

司法委員長 大田昌矩

副 伊藤政長幸

文社委員長 岩 亮

副 盛島明彦

総工委員長 桑江朝幸

副 石川与三誠

社会運動委員長 上原重蔵

副 坂寄善弘

予算決算委員長 伊賀徳一

副 垣花忠昌

3 民主党幹部 菅野弁務官と会見

早政調会長 桑江総務会長 長瀬立法院
議長ら 民主党幹部は 12月3日、ワソソ菅野弁務官と
会見し 主権公選の實現を再び要請した(米1
回目は米5回半報参照)。 菅上、菅野
弁務官は「今月中には何らかの進展が見られることを
希望している」と述べたところから 主権選任の方法
が今月中に改正される可能性があると同党と
しては 直接公選の實現は困難になると判断して
いると述べた。

(副訳1)

4 久米高事件

立法院選挙と関係の久米高の暴力事件に
先般 29名の逮捕者を出したが(米5回半報)、
12月3日、さらに10人に逮捕状が執行された。
今後さらに逮捕者が出るものと見られている。

5 違憲訴訟

神皇違憲訴訟の米2回公判が 12月8日
東京地裁で開かれた。 10月6日の米1回公判
(米2回半報)では 原告代理人の弁護人から
訴状の趣旨と根拠が陳述されたが 今回は
(別添1) 被告指定代理人から(別添2)
答弁書に就いて原告側から 確立主権
を主張する中心とした 秋明尋問が行われたが

被告側の釈明は、原告側の釈明要求書の提出を

待て行われることになった。

次回公判は来月2月10日の予定。

~~(別添)~~

6 ライチャウ大使訪沖

ライチャウ大使は、12月9日、沖縄視察の

帰途、沖縄に立ち寄り、外務省事務官

松岡主席と懇話した。

松岡主席との懇話では、主席公送の

沖縄方面の問題の解決に努力して欲しいとの

主席の要請に対し、ラ大使は日米援助以外の

問題については自分の権限外であるとして、是等の

表明を避けたと伝えられた。

ラ大使は10日午後、記者団と会見

(注) この日主席送任問題については、外務

省事務官の件問題についての考え方を述べたこと

を明らかにしたのみ、公送の時期については

現地の問題であるとして明言を避けた。又、日米

協試委員会については、同協試委員が経済援助

以外の二点について協談及び今後の将来の
問題点を述べた。併せて

7. 米陸軍次官神官訪神

米陸軍次官神官は、11月28日より12月4日
迄、沖縄に滞在し、米琉政府首脳と意見交換
（加圧）の軍事基地の視察を行なった。又、10月
20日、琉球商工会議所主催の座談会にて「米軍と
琉球列島」と題して講演を行なった。沖縄の
軍事基地は、日本の防衛上不可欠の要素であると
述べた。

(別添 3)